

おいしいお米に一役 アイガモ農法

猪名川町北田原の「合鴨米」を栽培する水田に6日、49羽のアイガモが放された。鳥たちは「ハイハイ」と鳴きながら群れをな



盛んに虫などをついばむアイガモ＝猪名川町北田原

猪名川の水田

し、盛んにくちばしを水中に入れ、草や虫をついばんでいた。アイガモ農法は、鳥が雑草や害虫を食べることで草取りの手間を

(三津山朋彦)

省き、ふんを肥料にして稲を育てる。同町では、2000年から同農法を導入し、現在は6軒が従事。約1500坪の水田に230羽が放される。

この日放たれたのは猪名川営農支援センターアイガモ部会副会長、北山倫聖さん(61)の水田約30坪。キツネやイタチ、カラスの害を防ぐため田を電柵で囲み、テグスを張り巡らせる予定。北山さんは「お米を待つお客さんのために頑張ります」と意気込んでいる。

アイガモは稲が穂をつける7月下旬から8月上旬まで田んぼの中で活躍。アイガモ農法の米などは、主に道の駅いながわ(万善)で販売される。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前

① アイガモ農法の良いところは、どんなことですか？わかるところに線を引きましょう。

② この日、約30アールの水田に放されたアイガモは、何羽ですか？

羽

③ アイガモを守るために農家はどんなことをしますか？

④ この記事を読んだ感想を書きましょう。

おうちの方に感想を書いてもらいましょう。

NIEワークシート／小学校／社会、総合、朝NIE